

## Interview ～登録セキスペ制度に込めた思い～

### サイバーセキュリティ分野で初の国家資格

サイバー攻撃が増加する中で、サイバーセキュリティ対策を担う専門人材は不足しており、我が国の社会全体として、早急なサイバーセキュリティ人材の確保が求められています。このような現状から、企業や組織で必要なサイバーセキュリティ人材を育成・確保するため、サイバーセキュリティ分野で初となる国家資格「情報処理安全確保支援士(登録セキスペ)」制度を創設しました。



経済産業省  
商務情報政策局  
地域情報化人材育成  
推進室 室長  
藤岡 伸嘉 氏

### サイバーセキュリティ人材の見える化と研鑽の機会の提供

登録セキスペの登録情報を公開するなど、見える化することで活躍の場を広げると共に、講習による継続的な研鑽を重ねていただくことで、サイバーセキュリティ分野の高度かつ実践的な知識・技能、さらに高い倫理観などを持つ専門人材として登録セキスペに対する国民の信頼を高めていきたいと考えています。

### 登録セキスペが活用される環境を積極的に創造

登録セキスペの企業における活用を進め、我が国全体のサイバーセキュリティ対策を向上させるためには環境整備が必要です。制度を検討した審議会においても、登録セキスペや情報セキュリティ関連資格を有する者を活用し、セキュリティ対策を推進している企業の認定や表彰を行うことや、企業等に所属する登録セキスペの人数等の情報公開の推進、政府調達における登録セキスペの参画の要件化なども提言されています。企業や組織がサイバーセキュリティの確保に対する意識を高め、セキュリティ人材の育成・強化に積極的に取り組めるよう施策を検討し、発信していきます。

### 2020年までに3万人の登録セキスペ誕生を目指す

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて万全なサイバーセキュリティ対策の体制整備が求められています。登録セキスペの活躍のフィールドは更に広がります。サイバーセキュリティ対策を担う皆様の更なる活躍のために登録セキスペへの登録をご検討ください。

## 「情報処理安全確保支援士試験」について

- 平成 29 年度春期から実施(平成 29 年 4 月 16 日(日)試験実施、6 月下旬合格発表)。
- 試験時間や出題形式、出題範囲、シラバスなどは、従来の「情報セキュリティスペシャリスト試験」と変わりません。
- 受験手数料 : 5,700 円(非課税)
- 実施回数など : 年 2 回(4 月・10 月) 情報処理技術者試験と同日・同一会場
- 合格者には、従来の情報セキュリティスペシャリスト試験と同様に、情報セキュリティに関する知識・技能を有するものとして、「経済産業大臣」から「合格証書」が交付されます。

情報処理安全確保支援士試験の出題範囲等の詳細は下記 URL をご参照ください。

[https://www.jitec.ipa.go.jp/1\\_04hanni\\_sukiru/\\_index\\_hanni\\_skill.html](https://www.jitec.ipa.go.jp/1_04hanni_sukiru/_index_hanni_skill.html)

### <登録セキスペ制度についてのお問合せ先>

IPA IT 人材育成本部 HRD イニシアティブセンター 情報処理安全確保支援士グループ

Tel : 03-5978-7561 Mail : riss-info@ipa.go.jp

電話受付時間 10:00 ~ 12:30、13:30 ~ 17:00 土・日・祝及び年末年始(12月29日から1月3日まで)を除く

## 国家資格



登録受付中!

# 情報処理安全確保支援士

通称名 : 登録セキスペ

英語名 : RISS (Registered Information Security Specialist)



## 守り続ける確かな力を

## 制度概要・登録について

### 情報処理安全確保支援士とは

「情報処理安全確保支援士（通称 登録セキスペ）」は、サイバーセキュリティに関する高度な知識・技能を活用して企業や組織における安全な情報システムの企画・設計・開発・運用を支援し、サイバーセキュリティ対策の調査・分析・評価やその結果に基づく指導・助言を行います。

### 登録のメリット

- ・国家資格「情報処理安全確保支援士」の資格名称を使用することができます。
- ・サイバーセキュリティに関する高度な知識・技能を保有する証になります。
- ・毎年の講習受講により、サイバーセキュリティに関する最新知識や実践的な技能を維持できます。

### 登録資格について

次のいずれかに該当する方

- ①平成29年度(2017年度)春期から実施する「情報処理安全確保支援士試験」の合格者
- ②「情報セキュリティスペシャリスト試験」又は「テクニカルエンジニア(情報セキュリティ)試験」合格者<sup>注1</sup>

<sup>注1</sup> ②の登録資格は、制度開始から2年間の経過措置期間のみ有効です。

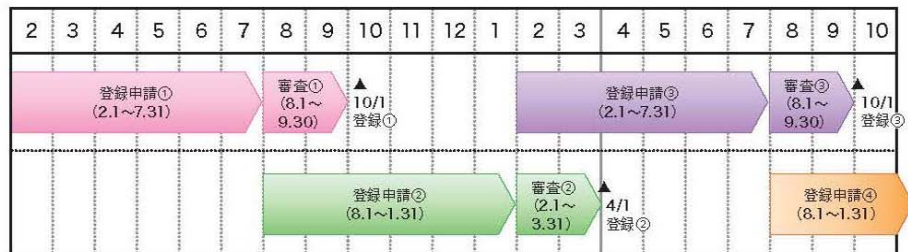
(経過措置対象者の方の最終登録は2018年8月19日申請締切、2018年10月1日登録)  
なお、経過措置対象者の受付期間終了後は、登録資格を失いますのでご注意ください。

### 登録日について

登録日は次のとおり年に2回です。

- ①4月1日(申請の受付期限:1月31日(当日消印有効))
- ②10月1日(申請の受付期限:7月31日(当日消印有効))

### <登録サイクル>



登録の手続き、申請書類などの詳細については下記のURLをご参照ください。

◇国家資格「情報処理安全確保支援士」  
<http://www.ipa.go.jp/siensi/index.html>

情報処理安全確保支援士

検索



## 講習の受講について

登録セキスペの資格を維持するためには、下記の講習を受講する必要があります。  
⇒講習未受講の場合は、資格名称の使用停止又は登録取消となることがあります。

### 科目及び内容

- ①知識：攻撃手法及びその技術的対策、情報セキュリティ関連制度等の概要及び動向
- ②技能：脆弱性・脅威の分析、情報セキュリティ機能に関する企画・要件定義・開発・運用・保守、インシデント対応、情報セキュリティ管理支援
- ③倫理：倫理的責任と義務、法令遵守・契約履行

### 実施形式及び時間

オンライン講習(1回当たり6時間)と集合講習(1回当たり6時間)を組み合わせ実施します。  
集合講習は、ケーススタディによるグループ演習が中心となります。

### 受講回数及び期限

登録日を起点として、オンライン講習は毎年1回、集合講習は3年に1回受けることが義務付けられます。ただし、試験合格日から登録日までの期間が3年を超えている者は、登録日から1年以内にオンライン講習及び集合講習の受講が必要です。<sup>注2</sup>

#### <試験合格日から3年以内に登録した場合>



#### <試験合格日から登録日までの期間が3年を超えている者>



<sup>注2</sup> やむを得ない事由(海外勤務、疾病・負傷、罹災など)がある場合は、申請により受講の猶予が可能です。

### 登録・講習に係る費用

- ①登録費用 登録手数料：10,700円、登録免許税：9,000円
- ②講習費用 オンライン講習：20,000円、集合講習：80,000円  
当制度において講習受講以外に更新のための手続きや手数料は発生しません。  
(登録手数料・講習費用ともに非課税です。)